

2018(H30)年度入学生用 管理栄養士養成課程 カリキュラムマップ

分野	1回生		2回生		3回生		4回生		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
全学共通教養科目	基礎科目・語学科目・情報科目・ウェルネス・一般科目・演習科目・大学関連携科目								
導入教育	管理栄養士論Ⅰ 【選択科目】特別化学 管理栄養士のための化学Ⅰ 【選択科目】特別生物 管理栄養士のための生物Ⅰ	管理栄養士のための化学Ⅱ 管理栄養士のための生物Ⅱ		管理栄養士論Ⅱ					
専門基礎分野	社会・環境(人間や生活)と健康		健康管理概論 保健医療福祉論	公衆衛生学Ⅰ	公衆衛生学Ⅱ				
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学 生化学Ⅰ 【前期又は後期】基礎微生物学実験 【前期又は後期】基礎化学実験		解剖生理学Ⅱ 【前期又は後期】解剖生理学実験 生化学Ⅱ(病態生化学・分子栄養学を含む) 【前期又は後期】生化学実験 病理学		臨床医学概論 感染防御学 運動生理学			
	食べ物と健康		食品学総論	食品衛生学 【前期又は後期】食品衛生学実験 食品加工学(食品微生物学を含む) 【前期又は後期】食品加工学実習 【前期又は後期】応用調理学実習	食品学各論 【前期又は後期】食品学実験				
専門分野	基礎・応用栄養学		基礎栄養学	応用栄養学 【前期又は後期】基礎栄養学実験	ライフステージ栄養学	応用栄養学実習		スポーツ栄養学	
	栄養教育論	生活情報処理演習Ⅰ(基礎統計学を含む)			栄養教育論Ⅰ	栄養教育論Ⅱ 【前期又は後期】栄養教育実習	カウンセリング論		
	臨床栄養学				臨床栄養学概論	臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養管理学実習Ⅰ	臨床栄養活動論 臨床栄養管理学実習Ⅱ		
	公衆栄養学			公衆栄養学Ⅰ 【前期又は後期】公衆栄養学実習	公衆栄養学Ⅱ				
	給食経営管理論			給食経営管理論	フードシステム論	【前期又は後期】給食経営管理実習			
	総合演習					【前期及び後期】総合演習Ⅰ		【前期及び後期】総合演習Ⅱ	
	臨地実習					【臨地実習履修者必修】臨地実習特別演習Ⅰ 【前期又は後期】公衆栄養学実習(校外)※ 【前期又は後期】給食経営管理実習Ⅰ(校外) 【前期又は後期】給食経営管理実習Ⅱ(校外)※	【臨地実習履修者必修】臨地実習特別演習Ⅱ 【前期又は後期】臨床栄養学実習Ⅰ(校外) 【前期又は後期】臨床栄養学実習Ⅱ(校外)		※選択必修
その他専門科目	必修					卒業論文Ⅰ	卒業論文Ⅱ	卒業論文Ⅲ	
		食生活論			食料経済	フードスペシャリスト論 消費生活科学(食品商品学を含む) フードコーディネータ論			フードスペシャリスト必修
						学校栄養教育論Ⅰ	学校栄養教育論Ⅱ		栄養教育必修
	その他	衣生活概論	保育学(実習及び家庭看護学を含む) 【前期又は後期】被服平面構成実習 【前期又は後期】被服立体構成実習Ⅰ 住居計画学(製図を含む) 被服管理学		家族関係論 家庭科指導法Ⅰ	家庭科指導法Ⅱ	被服衛生学	生活経営学	中高免許必修(家庭科)
			生活情報処理Ⅱ(推定と検定)			【前期又は後期】家庭電気・機械			高免必修(家庭科)
				生活情報処理Ⅲ(基礎統計学を含む)		食品機器分析		食品機器分析	
入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)			教育課程編成・実施の方針、学修成果の評価方針(カリキュラム・ポリシー)			学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)			
管理栄養士養成課程は、高度な知識と技術をもった「管理栄養士」の養成を目指しており、入学希望者には、次のような意欲や能力を求める。1. 高等学校で履修した科目についての知識を有し、生物、化学の学習を継続して行う意欲のある人、2. 社会における食料、資源、環境、健康に関する問題に関心を持つと同時に、さまざまな事象を考察し、自分の考えをまとめることができる、また、それを他者にわかりやすく説明できる能力を持つ人(あるいはそれらを習得しようとする意欲のある人)、3. 国内、国外を問わず管理栄養士として活躍し、将来的にその指導的な役割を担う意欲がある人。			管理栄養士養成課程は厚生労働省の定める管理栄養士養成課程であり、法令に適合したカリキュラムとなっている。また本学科独自の科目を設けて、高度な専門知識を学ぶための導入教育や職業教育に配慮している。専門基礎分野の科目では、講義、実験・実習を通して専門性の高い知識や技術を修得する。またこれらの専門知識・技術を基に、「総合演習」や学外での「臨地実習」を行い、現場での社会性・協調性を養い、実践力を養成する。さらに「卒業論文」の研究や調査を通して、課題の発見、解決力、論理的思考力を養う。国家試験の合格基準が60%以上の得点率であることに鑑み、すべての開講科目につき、科目の学修内容の理解度が60%以上であると認められる者に所定の単位を与える。			管理栄養士として職務を遂行するのに必要な知識、技術、心構えが修得できており、次の3つの能力を備え、カリキュラムに定められた所定の単位を修得したものに学士(栄養学)の学位を授与する。1. 健康の維持・増進、疾病の予防・治療において栄養の教育・指導ができる能力(自立している)、2. 食に関する問題を解決する方策を提案できる思考力や行動力(創造性がある)、3. 管理栄養士としての職務に対する責任感や人とのコミュニケーション能力(対話力がある)			